

下田南地区振興会だより 会報 小田床

■発行第61号■

【発行責任者】

下田南地区振興会

会長 中村敬司

【連絡先】

下田南地区コミュニティセンター

42-3612

ふるさと納税に
感謝申し上げます

下田南地区振興会
会長 中村 敬司

小田床の皆様、離郷者の皆様、毎日暑い日が続いています。梅雨明けはまだですが夏本番での猛暑が心配です。

各地で線状降水帯が発生し、甚大な被害が出ています。幸い当地では雨こそ降りますが被害もなく安堵しています。

出郷者の皆様や一般の方からの、ふるさと納税が昨年は60万円超もの金額を寄付して頂きました。改めて御礼申し上げます。昨年は下田南グラウンドにグラウンドゴルフ用のプレハブ倉庫を設置いたしました。今年は妙見老人クラブ運営費の一助になればと、アルミ缶専用の回収ボックスを購入しました。また、8月26



日(土)に開校予定の「熊本学習支援センター下田南校」と連携し地域の活性化に繋がるよう有意義に利用させて頂きたいと思っています。下田南校については、皆川校長が寄稿されていますのでご覧ください。

開校に伴う空き家の契約状況をお知らせします。佃廣次様邸と山田様邸を提供して頂いています。これからも利用可能な空き家を契約し宿舎などに活用したいとの事です。皆様のご協力よろしくお願い致します。

新型コロナウイルス類に移行しインフルエンザと同じ扱いになりましたが、感染力は変わりませんので今まで同様気を付けて行きましょう。皆さんが健康に留意され、暑い夏を乗り切り、久方振りに帰省され懐かしい小田床の皆様と話しが弾むことを期待しています。



令和5年度 天草市一斉避難訓練

6月11日(日) 午前9時から令和5年度天草市一斉避難訓練が実施されました。9時にサイレンが鳴り、それぞれの各地区の避難所へ避難し参加人数の報告がなされました。(参加者98名) 避難訓練後、下田南地区自主防災会では、天草市社会福祉協議会様のご協力により、災害ボランティア養成講座として、ハイゼックス炊飯法についての実地指導がありました。(無洗米と飲料水を入れたハイゼックスを釜へ投入、約30分位)炊き上がるまでの時間天草西包括支援センターさんより認知症について知る、講演がありました。

これから台風シーズンになりますので皆さんもう一度それぞれの避難所を確認しましょう。



開校のごあいさつ

下田南校 校長 皆川 剛

あらためまして、熊本学習支援センターの皆川です。よろしくお願ひいたします。すでにお聞きになられている方もいらっしゃるかもしれませんが、簡単に略歴を申し上げます。

昭和四十六年、埼玉県生まれ。大学卒業後、児童福祉の仕事を経て、東京にある不登校支援団体に就職。その団体を母体として高校を設立、本校のある三重県志摩市に異動。教務主任、教頭職を経て、今春より熊本学習支援センターに転職、下田南校校長として着任いたしました。

今年八月の開校に伴って、天草市内外の不登校の生徒さんの支援を始めさせていただきます。令和七年には「不登校特例校」としての開校を目指しています。

本年五月に行われました記者会見・交流会では地元の方々に大変お世話になりました。不登校の子について、どんな感じなんだろう、と疑問に思われている方もいらっしゃるかもしれませんが、実際接して頂いた方には、なんとなく感触がつかめたのではないかと思います。ふつうのお子さんとなんら変わりありませんが、繊細で、ちよつと不器用な子が多いかな、というのが私の印象で

す。学校に行けなくなる理由はいろいろですし、再び学校に通えるようになるかどうか、というのも、また人それぞれです。

大事なことは、学校に行けなくなる、というたいへんに厳しい出来事を通して、本人とご家族がいかに関わりを見直し、コミュニケーションを深めていけるのか、また、そこから何を学び、どのように生きていくのか、ということなのだと思います。孫子にはできれば苦労させたくない、と思うのが人情ですが、残念ながら人生ではさまざまな試練が待ち受けています。それがいつ、どんな形で表れてくるのか、体験しなければいけないのか、というのはもちろん誰にも分かりません。学校に行けなくなってしまう子どもと、それを支えるご家族にとつては、間違ひなく試練でしょう。ですが、この出来事を通して、子どもたちが大きく成長し、ご家族の絆がよりいっそう深まった、という例を、私はたくさん見てきました。

ご縁を頂きましたこの下田南地区におきまして、私は、たくさん子どもたち、そしてご家族の笑顔を見たいと思います。さらに、その笑顔が、地域の皆様の笑顔になっていくような、そんな教育活動をしてまいりたいと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。



地域住民の方と一緒に



交流会のグラウンドゴルフ



高浜港にて釣り



十三仏公園



**ふるさと応援交付金を活用して
「ふたばき古回収ボックス」を
設置しました**

ふるさと応援交付金は毎年多くの離郷者の皆さんから御芳志いただいています。ふるさと小田床へ思いを寄せてくださる皆様へ深く感謝申し上げます。

このふるさと応援交付金を活用して、今年度はアルミ空き缶回収用のコンテナを購入しました。

これは、下田南妙見老人クラブの活動資源として、少しでも回収が効率的に、家庭に溜め置きしないようにとするものです。

設置場所は、鬼海、浜、佃、中野、中村の資源ごみ置き場らか所の側に据置きしました。管理、回収は下田南妙見老人クラブが行います。

ふるさと応援交付金は、地域を元気にするために、今後は「熊本学習支援センター

天草下田南

校」との連携

事業や「下田

南大橋」の完

成に合わせた

イベント、美

しい海浜、田

園風景を維持

保全するため



の取り組みなどを検討し、活用させていただきたいと考えています。これからもご理解と温かいご支援をお願い申し上げます。

**『西天草海岸・小田床漁港』
を綺麗に、気持ちよく、楽し
みましよう**

小田床漁港は第1種漁港(その利用範囲が地元の漁業を主とするもの)です。近年、マリンスポーツに多くの方が楽しむようになり、また、観光地としても注目されて、小田床漁港にも多くの方が訪れ利用者が増えつつあります。

しかしながら、一部の利用者のマナーの悪さから、地域には歓迎できない声もあり、立ち入りを抑止すべきとの意見も出されています。

2019年には岸壁でのマナー向上と無法地帯を解消するため、地区住民と利用者有志により駐車場を整備しました。その後、2020年台風9号被災による立ち入り禁止後は、静かな海浜風景に戻りましたが、災害復旧後はマナーが再度悪い状況になり無法地帯になりつつあります。

そこで、「小田床港湾利用者の会」を組織し、地域の方と利用者が共存共栄をめざし、海浜の景観環境美化

につとめ、次世代へ誇れる海浜風景を継承することいたしました。

早速、7月8日16時から小田床漁港海浜清掃を地域や利用者へチラシを配布し呼びかけて、実施しました。

35名超の方が御奉仕いただき、うち町外から子供さん含め11名も来ていただきました。感謝です。

また、8月に旧下田南小学校を活用して開校する熊本学習支援センターからも仙波代表ら3名馳せ参じくださいました。

皆さんも、ぜひ天草にきて綺麗に気持ちよく、マリンスポーツをエンジョイしてください。

これからも「西天草海岸・小田床港」をよろしく願います。

白石 憲博



天草スマホカレッジ 下田南校活動について



妙見老人会

も所属してお
ります天草中
央連が社会福
祉協議会の協
力で、令和2

年6月スマートカレッジが発足しま
した。現在は本渡の牛の首校はじめ
天草全域に12校、苓北町、益城町に各
一校で、リモート講座で活動してい
ます。

スマホのアプリを学ぶ事で日常の
生活が変わります。天草スマートカ
レッジの目的は脳年齢を保って人生
総幸福量を最大化する生涯学習の場
と、みんなが助け合いながら安心安
全に暮らせる幸せな地域づくりです。

7月6日に開校した今回の下田南
校は7名で受講しています。年4回
の開校で、次は10月開校予定になり
ます。これからはスマホの時代です。
50歳以上なら年齢制限はありません
ので皆さんの参加をお待ちしていま
す。

下田南校 代表 数本房雄



「天草こざとこ里海米汐風」

今年も食べて応援してください

皆様お元気でお過ごしでしょうか。

さて、食味分析で「おいしいお米」
と評価され、好評を博している「天
草こざとこ里海米汐風」の令和5年産
を間もなく出荷販売いたします。

令和4年産はコロナ禍の影響で、
生産原価が3割もアップし、営業利
益が5割ダウンしました。

これからは水稲経営を健全化でき
るかと不安を感じつつも、ふるさと
の田園風景を守りたいと今後も頑張
る所存です。

こうしたことから、令和5年産は、
やむなく値上げをさせていただきま
した。

皆様には、小田床の田園風景が維
持保全できるよう、故郷のブランド
米「天草こざとこ里海米」を買って食
べて、御支援をいただきたく心から
御願い申し上げます。

下田南地区営農改善組合

組合長 佃 忠久

天草こざとこ農事組合法人

代表理事 白石 憲博

新米のご注文は、お名前、住所、電話番号などを明示のうえ
「天草こざとこ里海米」の申し込みとお知らせ下さい。

代金：精米 2kg 1,000 円 5kg 2,500 円 10kg 4,000 円
(送料別途：発送時にお知らせします)

【申込先】天草こざとこ農事組合法人

〒863-2802 天草市天草町下田南 2497

TEL 090-4994-7608 (白石憲博)

FAX 0969-42-3520 (佃忠久)

メール kozatoko2021@a.acn-tv.ne.jp

【代金振り込みの場合】代引きも可能です

天草こざとこ農事組合法人 代表理事 白石憲博

あまくさ農業協同組合西支所

口座番号：0086722



下田南のデータ

87 世帯
165 人
(男 75 人・女 90 人)
高齢化率 (65 歳以上)
94 人
57.0%
(令和5年6月30日現在)

色とりどりの紫陽花の季節も過ぎ
山々は深緑に包まれました。
そして、チャパーバリは一面の稲穂
の波。小田床出身者なら誰もが知っ
てる「チャパーバリ」。ここは明治の初
め頃まで海岸(浅瀬)であったことで、
国の干拓工事推進により当地も干拓
工事がなされたそうです。それまで
の主食は麦と芋でありまして山々に
は当時の段々畑の跡がいたるところ
に残っています。現在専業農家は殆
ど無く営農グループの諸氏が田植え
から収穫までを担っています。先日は
周囲の畦道の草刈に汗を流してお
りました。「実るほど頭の下がる稲穂
かな」の季節はもう直ぐです。感謝し
つつお盆には仏様にお供えしてから
新米を戴きたいと思えます。

白石 宣子

編集後記

ありがとうございます
ふるさと応援寄付金 2 名様
善意の寄付金
荒瀬 律子様 (旧姓 鬼海)
海老原久美子様 (旧姓 鬼海)